

令和2年6月16日

記録：関根 浩

令和2年度1回 教育課程編成委員会 議事録

- 1 日時 令和2年6月16日（月）13時30分
- 2 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
- 3 出席者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
高橋誠一（彩の森接骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長

4 校長挨拶

本日は、ご多用の中、ご出席賜り感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、6月1日より通常授業が開始となりました。お陰様で学生も元気に登校しており、教職員と共に学校生活の再開に安堵している所です。本日は、柔道整復学科の教育課程につきまして、特に外部の先生方からのご意見を頂戴し、今後の教育に繋げて参りたいと思っておりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

5 委員委嘱状交付

6 教育課程編成に係る現状と課題等

- ・国家試験の受験者は22名、うち合格者は20名であった。
- ・平成30年度より新カリキュラムへ変更し、夜間部を募集停止したことにより、新卒者が大部分を占めるようになった。よって、接骨院等でのアルバイトをしている学生は少なく、臨床現場での体験をしている学生は少なく、コンビニエンスストアや飲食店でアルバイトをしている学生の方が多いのが現状である。
- ・カリキュラム改正と学生の現状を鑑み、以前に無かった2年次に包帯実技を入れ実技科目の充実をする。その他に手技療法や超音波画像診断装置等も追加した。
- ・当校では90時間の臨床実習を実施していたが、カリキュラム改正後は、附属接骨院実習や救護活動等も含めた180時間の履修時間となった。
- ・今後は、学外臨床実習が義務化になる可能性も視野に含め、当校でも「臨床実習指導者講習会」を令和3年2月頃に予定として実施できるよう調整中である。本来であれば、今年の8月頃に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の終息をみてから実施することとした。その際、15～20名程度の小規模での受け入れを検討している。
- ・学内だけではなく、地域の接骨院等の先生方とのコミュニケーションを図り、情報交換しながら学科運営に取り組んでいく。

7 外部委員からの意見等

- ・コンビニエンスストアや飲食店等のアルバイトが多いことについて、ある程度の接客は出来ると思われるが、接骨院での問診や触診方法等の接し方・話し方等を

学べるようにしていただきたい。

- 実技科目で追加した超音波画像診断装置は必須となるので、学習する時間は必要である。
- 社会人としての身だしなみをしっかりしていただきたい。
- 知識コマンドがあったとしても、現場を見ないと、どう利用するかが分からない。学校の校訓として自律ということもあるので、外部臨床実習等の際に、実習先の先生方も、その辺を指導していただきたい。

8 次回開催

次回は、令和3年3月3日（水）13時30分 2階会議室
1か月前に通知する。

令和3年3月31日

記録：関根 浩

令和2年度 第2回 教育課程編成委員会 議事録

※ 新型コロナウイルスの感染の状況を鑑み、多数の方が、校舎内において長時間に渡り同じ場所に集まる状況は、現況では避けなくてはならないことから、「教育課程編成委員会」を中止とした。なお、当日、使用する資料を全出席予定者に送付し、その資料に対する意見等を回答いただく方法とした。

1 予定日時 令和3年3月3日(水) 13時30分

2 予定場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室

3 出席予定者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
高橋誠一（彩の森接骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長

4 予定議題

- ① 校長挨拶
- ② 教育課程編成に係る現状と課題等
- ③ 就職状況・学生アンケート結果等
- ④ 質疑応答等
- ⑤ 事務連絡他
- ⑥ その他

5 意見書

- ・令和2年度のように、登校できない期間があると、学生のモチベーションの維持が出来ず、精神面でも大きなマイナスとなり、その後も、学習効果を得ることが難しくなります。コロナ感染予防の対策を講じ、出来る限り登校授業の継続を望みます。
- ・直接現場での学びとなる実習に関しては、今後の状況を見極めて、ご判断をいただければと考えています。

6 次回開催予定 令和3年5月25日(火) 13時30分 2階会議室